街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１５０号
平成２７年（２０１５）９月発行
発行・事務局
◎ 荏原第一地域センター ◎
小山 3-22-3（〒142-0062）
tel ３７８６－２０００
fax ３７８６－５３８５

祝☆まちかど発刊 第１５０号

今後ともご愛読のほどよろしくお願い！

本紙「まちかど」が、街角と地域にお住まいの皆さま同士を結びながら、暮らしと文化の情報紙として創刊されたのは昭和61年（１９８６）７月のことでした。当初は年４回の発行でしたが、平成18年（２００６）12月からは毎月の発行に改めて現在に至っています。内容や体裁も幾度か変更を重ねながら今号をもって、おかげさまで「１５０」という記念の号を発刊することができました。ここまでこれたのも、地域にお住まいの皆さまのご支援をはじめ、歴代各町会長のご協力、歴代事務局担当者の援護のたまものと思っています。ここに改めて感謝申し上げます。

創刊号（昭和６１年７月１日 発行）

「まちかど」はどのようにして制作されているか

「まちかど」は、荏原第一地域センター管内14町会から1名ずつ推薦された編集委員14名によって企画・編集されています。編集長を中心に年４回、３号分ずつをまとめて編集会議を開いています。この会議で各号の内容が検討され、決定されることになります。決定された内容は各編集委員が分担して、それぞれ内容に沿って取材し執筆します。集まった原稿は編集長が目を通し、誤字や不適切な言い回しなどを訂正し、事務局担当者とともに割付（レイアウト）してプリントアウトし、各委員に配布します。委員は改めて目を通し、誤字をはじめ気にかかる箇所をチェックします。再び編集長が回収して訂正箇所があれば直して、印刷所へ入稿する流れとなっています。

さて、「１５０号」は一区切り、いわば通過点に過ぎません。これからも、地域に密着した紙面づくりを心掛けていくつもりです。地域の皆さま方からの身近な情報をお待ちしております。次の記念の号へ向けて、出発！ 引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。

（編集委員・編集長 石井恒男）

いつまでも愛される紙面づくりを ～発刊１５０号に寄せて～

荏原第一連合町会
会長 三瓶 恭生

このたびは、「まちかど」発刊１５０号、誠におめでとうございます。いつも楽しく読ませていただいております。

一口に１５０号と言われましても、編集委員の皆様方におかれましては、１号１号が毎回大変な作業だったこととお察し申し上げます。

荏原第一地域管内14町会の様々なニュースや行事等は、ほのぼのと心を和ませてくれます。

これからも皆さんから愛される「まちかど」として長く続けられますよう、ご期待申し上げます。

花めぐり

西洋アサガオ

夏も終わりの頃、まだまだ元気いっぱいに咲いているアサガオを見かけたことがありますか？

緑の葉に囲まれて鮮やかな青色が美しいアサガオ。「ソライロアサガオ」とも呼ばれる洋種アサガオの代表格は園芸種の「ヘブンリーブルー」です。

日本アサガオとの違いは、まずは葉の様子。日本アサガオは切れ込みのある葉で産毛があるのに対し、西洋アサガオはつるんとしたハート形です。また西洋アサガオは一か所に幾つもの蕾を付け、開花期も８月～１１月頃までと長いのが特徴です。西洋アサガオは生育旺盛、花数も多く午後まで咲き続けるので、グリーンカーテンにはお勧めです。

花言葉は「愛情」「愛着」。他に「フライングソーサー（空飛ぶ円盤）」、「ミルキーウェイ（銀河）」など素敵な名前の品種があります。

（編集委員 河原マサ江）

街角ウォッチング

荏原のこんぴらさま

紫水晶の原石

中原街道の桐ヶ谷の交差点を平塚橋方向に進むと、程なく荏原金刀比羅神社があります。小規模な神社で、知らずに通り過ぎてしまうほどです。昭和５年に四国の金刀比羅宮の御分霊を受け、商売繁盛、海上安護、家内安全の神様として鎮座されました。境内の一角には、崇敬者の方の寄贈という紫水晶の原石が置かれていて、参拝する人々を驚かせています。

神社の鳥居

昭和２０年の空襲によって、一帯は焼け野原になり甚大な被害が発生しましたが、初代宮司さんが祓い串で神社の周りを祓い、社殿には全く被害が及ばなかったとの逸話も残っています。

もともと、この神社は細長い境内で、祭礼（５月１０日、１０月１０日）には夜店も出て、とても賑わっていました。ですが昭和３９年の東京オリンピックの道路整備の際に、境内を大きく削られてしまい、現在の形になっています。

皆さんも一度、参拝してみてはいかがでしょうか。

（編集委員）

あわせ俳句でセンスを磨く「ふれあい健康塾」

去る7月15日（水）午後2時より、荏原第一地域センターにおいて「ふれあい健康塾」の定例会が開かれました。準備体操をし、体の筋肉をほどよくほぐした後、３グループに分かれて「あわせ俳句」を作り、頭の体操をしました。

「あわせ俳句」とは、テーマを決め、それに沿って五・七・五の字数の言葉をひねり出し、各字数の言葉を組み合わせて、１つの作品に仕上げます。

３グループそれぞれにたくさんの作品ができあがりましたが、その中から最も優れた作品を紹介します。

テーマ「夏」
・ゆかた着て 好きな扇子で 夕涼み
テーマ「武蔵小山」
・おしゃれして 家族で行こう おかいもの
テーマ「ふれあい健康塾」
・人に会う 笑って楽し 歌踊り
以上「あわせ俳句」の成果です。

［荏原第一地区健康づくり推進委員会
代表 大高一浩］

◎各ご家庭に配布しております。１部ずつお取り下さい。

次号『まちかど』は、１０月２０日(火)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を使用しています